

YOMISEウキウキ通り2017

海魔パレードにワクワク、ドキドキ

一色銀座通り商店街で7月29日、YOMISEウキウキ通り2017が行われました。三河一色大提灯まつりの起源である海魔退散にちなんだ「海魔パレード」には16組48人が参加。妖怪やお化けなど個性的な姿に扮した参加者が歩行者天国になった商店街を練り歩き、見物客を驚かせたり、パフォーマンスをしたりして会場を盛り上げました。多彩な夜店や子どもたちに人気のミニ電車の試乗、一色高校和太鼓部による演舞などさまざまなイベントが催され、たくさんの方が夏の夜を楽しんでいました。



中日ドラゴンズ岩瀬投手が通算最多登板記録を更新

鉄腕が大記録を達成



西尾市ふるさと大使である中日ドラゴンズの岩瀬仁紀投手が8月6日、東京ドームでの読売ジャイアンツ戦に登板し、プロ野球歴代最多となる通算950試合登板を達成しました。ドラゴンズ1点リードの9回に登板した岩瀬投手。1イニングを無失点に抑えて今シーズン2セーブ目を挙げ、自身が持つセーブ数の通算最多記録も404に更新しました。岩瀬投手は新人だった平成11年の開幕戦で初登板。15年連続でシーズン50試合以上に登板するなど、チームを支えてきた鉄腕がまたひとつ、プロ野球の歴史に名を刻みました。

愛知県消防操法大会

一色消防団が訓練の成果を披露

第62回愛知県消防操法大会が8月5日、碧南市の2号地多目的グラウンドで行われました。県内の消防団員を対象に、消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の進歩や充実を目的に毎年開催されています。今年はポンプ車操法の部に23団、小型ポンプ操法の部に15団出場し、タイムや操作の正確性などを競い合いました。西尾市からはポンプ車操法の部に一色消防団が出場。規律正しい息の合った動きを見せ、約半年におよぶ厳しい訓練の成果を披露しました。



宮崎ぎおん祭り・第29回吉良花火大会

宮崎の夏を彩る風物詩



7月22日に宮崎ぎおん祭りと第29回吉良花火大会が、宮崎漁港周辺で行われました。屋台の並ぶ会場が夕方から浴衣姿の見物客でにぎわう中、「わっしょいわっしょい」の掛け声とともに、宮崎ぎおん祭りのジャンボ鯛みこしが若衆たちに担がれて海岸通りを練り歩きました。すっかり日も落ちたころ、花火大会が開幕。約1,700発の花火が次々と夜空を彩り、大迫力のスターマインが打ち上がると、見物客から大きな歓声が沸き起こっていました。



西尾祇園祭

脈々と受け継ぐ、400年の歴史と伝統

六万石城郭城下町の祭典、西尾祇園祭が7月14日～16日の3日間、名鉄西尾駅西側一帯の各会場で催され、過去最高となる延べ29万人が訪れました。14日は貴重な祭礼道具が展示される中、西尾小学校の児童などが浴衣姿で手踊りを披露。15日は伊文神社みこしや大名行列、中町大屋形が盛大に市街地を練り歩きました。最終日には、市民総踊り「踊ろっ茶・西尾!!」に参加した18チーム、1,402人が迫力のあるパフォーマンスを繰り広げ、会場全体が活気に満ちあふれていました。



防災カレッジ

地域で防災力を育む



地域の自主防災会のリーダーを養成するため、7月15日から4回にわたり「防災カレッジ」が行われました。7月16日の第2回では、さまざまな事情を抱える避難者のカードを、避難所に見立てた平面図に配置しながら避難所運営を模擬体験する「避難所運営ゲーム（HUG）」を実施。グループごとに活発な意見を交わし、運営の難しさを学んでいました。その後、救出救護とロープ結索の訓練で実践力を身に付けるなど、防災に対する理解を深めていました。

はずストーンカップチャレンジレース

自然豊かな幡豆の海を疾走

第21回ははずストーンカップチャレンジレース2017が7月30日、東幡豆町の東幡豆海岸で行われました。幡豆石を加工した「ストーンカップ」を目指し、56チームが参加。今回から新設された軽トラックに乗る小型サイズの「K部門」を含め、タイムや着順を競う各部門で熱戦が繰り広げられました。手作りイカダに乗った選手たちは、海岸から送られる大きな声援に応えようと、掛け声に合わせて力いっぱい漕ぎ、水しぶきを上げながら幡豆の海を疾走していました。



キャンプしましょう、おひめさま。

優れた舞台芸術を身近で体験



8月5日、カナダの劇団コープスによる公演「キャンプしましょう、おひめさま。」が文化会館で開催されました。公演は、客席との距離がとても近く、アットホームな雰囲気の中で行われ、セリフに頼らない芝居と、随所で観客を巻き込むパフォーマンスで、子どもだけでなく大人も楽しませていました。終了後には2人のお姫様との記念撮影タイム。サービス精神旺盛なお姫様のおかげで、参加した子どもたちにとって、夏休みの良い思い出になったようです。